

2021 年全交 第 10 分科会

# コロナ禍での高齢者、 事業所の切り捨てを許さず 尊厳ある支援の補償を

日時 7月25日(日)  
午前9時30分～12時  
ところ エル大阪709号



全交厚労省交渉

●介護現場でも報告・報酬申請などのオンライン・デジタル化が急速に進められています。それは、大規模事業所優遇し良心的な小規模事業所が淘汰します。また、個人の介護情報もデジタル庁に一元化されます。デジタル化は尊厳ある介護支援とは真逆です。

●新型コロナは、介護施設、利用者を直撃しました。利用者に感染者が出ても病院へ入院できないケース 感染を恐れての利用抑制など、小規模事業者の経営を圧迫し、倒産や廃業した事業者が増えています。現場の実態報告、安心して介護支援ができるための「誰もがどこでもいつでも PCR 検査ができる」保障を求めた自治体交渉、地域の事業所の実態調査活動など、各地域の取組の交流を行います。さらに、秋季の取組方針を確認したいと思います。

●菅内閣は社会保障の切り捨てを推し進めています。介護保険料の引き上げ、介護給付の削減は限界です。このままでは、介護保険制度は破綻します。私たちは全額公費負担で必要な人に必要な介護支援を保障する制度の創設を展望します。

●意見交換したいと思います。

連絡先

全体・関西 手塚 080-1509-0706 関東 田中 090-4593-7014